

第 34 回東京都景観審議会 意見の概要

平成 22 年 6 月 15 日(火)に第 34 回東京都景観審議会が開催され、会長及び副会長の選出が行われました。また、事務局から「専門部会の設置について」「東京都の景観行政について」「平成 22 年度の景観審議会開催予定について」「平成 23 年度国の施策及び予算に対する東京都の提案要求について」の 4 点について報告がありました。

■第 34 回東京都景観審議会 意見の概要

議事 1	会長及び副会長の選出
【会長及び副会長を互選により選出】 ○岸井隆幸委員を東京都景観審議会会長に、小林崇男委員を副会長に選出	
報告事項1	専門部会の設置について
質疑なし	
報告事項2	東京都の景観行政について
【都民の自主的な街並み景観づくりの推進について】 ○街並みデザイナーを紹介してガイドライン作成となっているが、作成後に運用していくときには街並みデザイナーは関与しないのか。 (事務局) ・地元のまちづくり団体の判断とはなるが、ガイドライン運用時にも街並みデザイナーと引き続き一緒にやっていただいたほうが課題を解決していくにはいいと考える。	
【目指すべき東京の将来の絵姿について】 ○世界的な戦略に立ったビジョンをもって、どのような東京の将来の絵姿を目指すかを景観の切り口からも考えていくべきではないかと思う。 (事務局) ・東京都が作成した都市づくりビジョンの検討においても、世界の中での魅力を高めることの重要性を意識している。世界的な大都市の景観を、都市づくりの中で重視していく視点も必要と感じている。	

報告事項3	平成 22 年度の景観審議会開催予定について
<p>【隅田川周辺地域における新たな景観誘導について】</p> <p>○隅田川では護岸の整備等が進んでいるが、対岸でデザインが異なる例もあり、東京都で全体を調整してほしい。橋については、現在の色以外にもうちょっと川のきれいな景色に合う色があると思う。</p> <p>○隅田川の現況調査では、物理的空間だけでなく人の動き、例えば川の上り下りをする人や、対岸を歩く人なども重要な景観になると思うでの、調査してほしい。</p> <p>【平成 22 年度の検討案件について】</p> <p>○7テーマは全て新たな取組なのか。 (事務局) ・「隅田川周辺地域」、「デザインの地域ルール策定」については、東京都ではすでに検討や調整を始めていたもので、「景観重要公共施設」「歴史的景観保全の指針」は既存の取組を変更していくものである。「景観学習」、「東京の景観 100 選(仮称)」は新たに検討を始める。「皇居周辺地域」は昨年度からの取組を継続する。</p> <p>○東京の景観 100 選は過去にやったことはないのか。 (事務局) ・景観法がつくられてからは初めてである。</p> <p>○景観 100 選は好感を持てるアイデアと思う。</p> <p>【景観審議会での検討テーマについて】</p> <p>○羽田空港には国際線も増えていくと思うでの、日本の良さ、東京の良さをアピールするためのチャンスととらえ、羽田空港周辺の景観も考えていくといいと思う。</p> <p>○東京都が進めている環状2号線の周りの景観についても、もう少し議論をするのが大事だと感じている。</p> <p>○環境や緑の軸は別の計画で検討されているが、上位計画や他の計画を景観という目で見直していくといいと思う。</p>	
報告事項4	平成23年度国の施策及び予算に対する東京都の提案要求について
<p>質疑なし</p>	